

来年の9月から茨城県で開催される国体を知ってもらうために、いろいろな情報を発信していきます。第2回となる今回は、「ターゲットバードゴルフ」をテーマにお届けします。

# ターゲット・バードゴルフ

## - TARGET・BIRDGOLF -

[ 茨城国体での開催日と会場 ]

開催日 2019年9月15日(日)

会場 総合運動公園多目的広場

### ターゲット・バードゴルフの歴史

1969年、埼玉県の野嶋孝重<sup>たかしげ</sup>さんが考案しました。アポロ11号の月面着陸の際、ふわりと月面に降りた宇宙船を見て着想したと言われています。徐々に工夫と改良が重ねられ、現在の様なゴルフボールにバドミントンの羽根をつけたシャトルボールを決められたゴルフクラブで打ち、打数の少なさを競う、ゴルフをミニ化した

子どもから大人まで気軽にゴルフの醍醐味を体験できる魅力あるスポーツとなりました。1988年には日本ターゲット・バードゴルフ協会が設立され、2008年には全国に地域協会が設立されました。そして2005年の岡山国体で初めてデモンストレーションスポーツの種目となりました。



昨年10月に開催されたスポーツフェスティバルで、ターゲット・バードゴルフを体験する参加者

### 競技方法

基本は4人1組で18ホールをまわります。各ホールで順番にシャトルボールを打ち、ホールインするまでの打数の少なさを競います。

各ホールには、傘を逆さにした形の直径110センチの「アドバンテージホール」と、地面に約86センチの輪を置いた「セカンドホール」があり、セカンドホールにホールインした場合には、スコアはそれまでの打数に1加えた打数になります。



1：傘をひっくり返したような姿のホール。ゴルフと違い、ホールに近づくほど狙いにくくなる。2：競技に使うシャトルボール。風の影響を受けやすく、ゴルフ経験者でも扱いが難しいところが、この競技の面白さでもある。

